

時代の変革と未来の創造



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には輝かしい希望に満ちた初春をお健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、議員定数四名削減による議会議員選挙により十四名の議員が選出され、新しい体制で議会運営に当たって参りました。町民の皆様には町議会活動に対し、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の国内外の経済及び社会情勢は、混乱するイラク情勢、未だ解決をみない北朝鮮拉致問題、国内に目を向けますと、全国に被害をもたらした台風及び新潟県中越地震など予測を超える自然災害が発生し、多くの方が被災されました。一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

また、経済面をみますと景気回復に向けた動きは見せたものの、依然として低調に推移をいたし、地方経済及び私たちの生活に大きな影響を与えておるなど、国内外ともに一段と厳しさを感じた一年でありましたが、今年こそ景気回復が実感できる明るい年となることを願ってやみません。

一方、このように厳しい情勢の中、わが町におきましてはあぶくま高原道路小野インターチェンジ・平田インターチェンジ間の開通、こまちダムの本体定礎式、更には磐越道郡山・いわき間の六割が四車線として供用されるなど、当町発展の鍵となる重要な施策は順調に推移をいたしております。また厳しい経済情勢の中にあつて、誘致企業が個々の企業努力により、工場新設をはじめ生産体制の拡充に取り組まれておりますことは、雇用面も含め地域経済の活性化を一層助長するものであり、都市機能の条件整備と地域経済の再構築は、確実に進展をいたしております。ご承知のとおり、自治体を取り巻く環境は、地方財政の厳しさに加え、大きな変革期を迎えており、地方財政運営を左右する三位一体の改革は、地方と国の協議を経てその枠組みが決定されました。このことは、地方分権と地方自治確立のうえで重要な変革期を迎えたものと認識をいたさねばなりません。

国と地方の枠組みが変わりつつある中、当地域において重要な役割を担うわが町が未来に向けて着実に歩んでいくためには、時代の変革の波を的確に捉え、行政と町民の皆様方がそれぞれの役割を果たし、協働で自立したまらづくりを進めていくことが一層求められて参ります。

議会といたしましても、町民の皆様のご意見を町政に反映し、当町の有する貴重な資源及び今日まで整備されて参りました社会資本を最大限に活かしたまらづくり

と、自立可能な行財政運営の構築に先導的役割を担い、町民の皆様への期待に応えられる議会運営を目指して参りたいと決意を新たにいたしております。どうか議会に對しまして、更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして健康で喜びと幸せに満ちた一年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

小野町議会議長 大和田 昭



約60%が供用された磐越自動車道

